

令和4年度第1回黒石市中心市街地活性化協議会 議事録

- 開催日時** 令和4年5月16日（月）
- 開催場所** 黒石市産業会館4階「大会議室」
- 出席者名** 別紙出席者名簿参照
- 資料**
- ①令和3年度事業報告書・収支決算書、監査意見書、
令和4年度事業計画書（案）・収支予算書（案）
協議会構成員名簿（改選前・改選案）
 - ②令和3年度黒石市中心市街地活性化基本計画の変更内容（令和4年3月8日
認定）
 - ③黒石市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表
 - ④令和3年度黒石市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する
報告（案）
 - ⑤（仮称）市民サービス施設整備事業 説明資料
 - ⑥黒石市立図書館整備事業 説明資料
 - ⑦第1回協議会出欠簿
 - ⑧参画団体施策説明資料（国土交通省東北地方整備局、経済産業省東北経済産
業局、(独)中小企業基盤整備機構）

議事の経過

事務局の古川課長より開会を宣し、配布資料を確認。新岡常雄会長による挨拶ののちアドバイザー・オブザーバーの紹介を行い、協議会規約第13条第2項の規定により会長が議長に就任。

事務局より、総委員数26名中、出席者19名、委任状行使者6名と発表がなされ、協議会規約第13条第1項の規定により本協議会が設立することが報告された。

- 案件1 令和3年度事業報告並びに収支決算承認について
- 案件2 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）審議について
- 案件3 任期満了に伴う委員、役員、会計監事の改選
事務局より資料①に基づき説明がなされ、原案通り承認された。

(次のページへ)

□案件4 令和3年度黒石市中心市街地活性化基本計画の変更について

□案件5 令和3年度定期フォローアップ報告について

黒石市の各部局（下記参照）より、資料に基づき説明がなされた。

資料②・③・④・・・黒石市商工観光部

資料⑤・・・黒石市総務課財産管理室

資料⑥・・・黒石市教育委員会社会教育課

その後、アドバイザーである弘前大学教育学部特任教授・北原啓司氏と出席委員からそれぞれ下記の通り意見が出された。

北原啓司アドバイザー

図書館と市民サービス施設の説明を聞くと、2つの新しい施設ができるという話だととらえてしまうかもしれないが、新しい施設を2つ作る事がメインではなく、中心市街地というエリア全体を編集していく時期が来ていると考えるべきである。

今回の設計コンペは「まちなかエリアリノベーションプラン」という計画についての提案も一緒に求めたという日本でも珍しい形式のものとなった。

単なる一個の建築ではなく、外部を含めたひとまとまりのエリアとしてつながりを作り、地域の人々が気持ちよく歩き回れることが黒石にとって大事なことである。

こみせ通りの無電柱化も進み、歩けるまちづくりを念頭に考えていくことは大事だが、やはり雪国というハンディキャップがあり、本当に冬の寒い時に歩けるだろうかという懸念はある。それをどういうふうにしていくかという一つのポイントとしては、建物の中にも人が集まるようなオープンスペースが必要であり、そうでなければ街中に人がきてくれないだろう。

行政が作っているのはあくまでプランと、それに必要な舞台であって、そこで演じる役者である市民や観光客が来なくては意味がない。演者として舞台上がったり、それを見て楽しむ観客であったりなど、市民がそのような形でこの計画を応援していくべきであり、「こうあるべき」ではなくて「こんなふうにやってみたい」という意見を交わしていくことが必要になると思う。

寺山正幸副会長

昨年からは図書館の形がようやく見えてきて、施設や基本計画についての説明

(次のページへ)

を聞いた上で、この図書館ならびに市民サービス施設というのは、あくまでエリアを回遊するための要素の1つだということも頭に含んで検討していかなければならないものだと感じた。まだまだ問題が山積していると思うので、皆様と一緒に知恵を絞りだしてやっていきたい。

船水正嗣副会長

新しい施設ができれば、地域に関わっている様々な人を呼び込み、同じ趣味を持つ人々をさらに呼び込んでいくという回数を増やしていかなければならないと感じている。

また子育て世代への支援強化は良いが、高齢者を置き去りにしないよう世代間交流の部分文言として増やしてもよいと思う。

野呂晋一委員

黒石市で行っている街なみ環境整備事業では、「こみせ」(建築)に関して設計管理を含み補助金が交付されるが、今年中町に新築された住宅は「こみせ」をつけていない。

理由として、「こみせ」は観光客などそこを通るだけの人にとっては便利だが住民にとっては車を入れることなどを考えると邪魔になる。今は昔と違い家で2～3台車を持っており、駐車スペースを考えるとかなり無理なものが出てくる。それを考えた時、昔から言われていた「かぐじ」の活用を急いでやらなければならないと思う。「かぐじ」の方から駐車場に入っていけるようなシステムもしくは今の空き地を市で一括で買い上げ、1つの土地に1～2台車を置けるような形にして、空き地を活用して無料で開放するようなシステムを作っていないとこみせは続いていかないように思う。

鳴海浩二委員

当初我々は、この市民サービス施設と市立図書館を1つのところにまとめた方が良いのではないかという意見も出していたが、北原先生のお話にあったような考え方で見てみると、大変良いものができたのではないかと今あらためて思った。

現状としては街なかの賑わいを作ることについては、イベントを開催し人を呼んで、その人たちに黒石の街なかを歩いてもらえればいいんじゃないかと考えているが、そう考えたときに現市庁舎の解体について計画があるのか、

(次のページへ)

またそうであればいつ頃から着手するのが気になる。我々がイベントを開催する場合にスペースが必要となるので、そのあたりについてお聞かせいただきたい。

黒石市総務課財産管理室・佐山陽紀主事

確定している情報だけお伝えすると、現本庁舎を解体する予定はある。ただし、市民サービス施設の完成後になるのではないかと考えている。また、市民サービス施設にすべての課が入居できるものでもないため、現庁舎の敷地内で新本庁舎を建設できればと思っている。予定としては、令和6～9年度にかけて設計や工事を実施したいが、社会情勢を考慮しながら進めるため、現時点で確定しているものではない。

長内高昭委員

私は御幸公園のすぐそばに住んでおり、公園に整備された駐車場を見ると、まだちょっと狭いような気がする。現状の御幸公園のままではそれほど活用できているという感覚がないので、もう少し駐車場として広げた方が良いのではと思うが、そういった計画があるかなど市の考えを聞いてみたい。

あとは芝生などを敷いてももう少し公園らしくできれば良いと思うし、そこから歩いて出発して、いろいろめぐっていけるようなになればと思う。

やはり交通手段として車が一番使われると思うので、中心市街地に停める場所がないとなかなか人が集まってこないと思う。

黒石市商工観光部・成田晃一課長補佐

現時点ではそのような計画はないため、この場で明言できる内容はございません。

鳴海信宏委員

北原先生がおっしゃったとおり回遊できるというのはもちろんだが、市民が暮らしやすい、活用しやすい環境、市外の方も同じように回って楽しめるような環境になるのが理想。私もこみせ通りで商売をしているが、観光客の方が来ると「人が少ないね、いつもこんな感じなの？」と言われることがある。

先ほどの話にもあったように、冬の間は本当に寒く、なかなか外を歩くというのは難しい。その中で市民にとっても良い、観光客にとっても良いというの

(次のページへ)

は非常に難しい課題になるかもしれないが、街なかを歩いて30分なり1時間なり楽しめるような環境や、市民の集えるまちづくりを皆で考えていきたい。

議長より、黒石市から内閣府へ提出される定期フォローアップ報告書に掲載される協議会の意見について、本協議会で出された意見を参考に事務局で草案をまとめ後日委員に再度諮る旨を伝えた。

□案件6 その他（国土交通省と経済産業省による施策説明等）

オブザーバーとして出席している各団体より、行っている施策等について説明がなされた。

「自己紹介と制度紹介」

国土交通省東北地方整備局建政部 都市・住宅整備課
高濱 康亘 課長

「中心市街地活性化等支援事業について」

経済産業省東北経済産業局産業部 商業・流通サービス課
安藤 千亜紀 課長補佐

「中心市街地活性化をめざす街のための中小機構のまちづくり支援」

独立行政法人中小企業基盤整備機構 高度化事業部まちづくり推進室
林 伸次 室長

以上